

アキュフェーズ Accuphase P-250

STEREO POWER AMPLIFIER



海外のハイパワー・アンプと云えばチャンネル当り 600W, 350W, 300W, 250W, 200W等々ど、我が国のハイパワー・アンプに比べてはるかに大きい出力を誇っています。このことは1W当りのコストを重視し大パワーを求める欧米人の習慣から考えて当然の結果と考えられますが、家庭用として音質を追求するシステムには問題のあるアンプも多いことが、我が国の評論家、販売店、メーカーから指摘されています。アメリカのオーディオ界でも、ただ単にパワーのみがクローズアップされるメーカー間の競争が問題となり“アンプの価値はパワーのみでは判断できない。トータルの質をもっと重視すべきだ”という反省が盛んになってきました。

イギリスのオーディオ専門誌Hi-Fi NEWS and RECORD REVIEW誌が、アキュフェーズP-300型を世界の大出力アンプ

の中では小出力に属する150W/チャンネルでありながらも、その質の高さと内容のユニークさによって“疑いなく今日の世界のハイファイ市場で最も進んだアンプの一つ”と評価したことでも、質を含めたトータル・バリューを重視していることが分ります。

ステレオ・パワー・アンプ・アキュフェーズP-250型は世界のパワー・アンプ群の中では決して大パワーとは云えない100W/チャンネルですが、特に音質については限界まで追求しました。

また、スピーカーの持つ個性を、より積極的に引き出せるように、スピーカー・ダンピング・コントロール・スイッチを設け管球式アンプ全盛時代に完成された歴史の長いスピーカーも、その個性を十分発揮できるように配慮しました。

Accuphase P-250

アキュフェーズ
ステレオ・パワー・アンプ

1 特にロー・レベルの音質を重視した100W/チャンネルの出力

出力段に大型パワー・トランジスタを用いたパラレル・プッシュプル駆動と、大型ヒートシンクにより100W/チャンネル(8Ω負荷、両チャンネル同時動作時、20-20,000Hz、ひずみ0.1%以下)の出力を保証しています。スピーカーに十分なエネルギーを送り、しかもどんなに激しく大きく変化する信号にも完全に追随するためには、電源が大切です。大型パワー・トランスと、

ダンピング・ファクターを切替える方式をとり入れました。8Ω負荷時50以上(NORMAL), 5(MEDIUM), 1(SOFT)の3つを選択できます。これによって、管球式アンプ独特の音質もお楽しみいただけます。

3 完全なスピーカー保護機構

出力端子以後でコードが短絡したり、本機内部で異状が起きると、その瞬間からリレーによって遮断され大切なスピーカーが保護されます。異状が直れ

した。このフィルターは、フロント・サブパネル内部のスイッチでON-OFFできます。

6 豊富な入・出力端子

3セットのステレオ・スピーカーを切替えられるスピーカー・セレクタースイッチ、それに入力も2回路切替えられます。入力端子の1回路をフロント・サブパネル内部に設けて前面から操作できます。

7 厳選されたパーツ

本機にはP-300型、C-200型で開発した、厳選されたパーツを使用しています。音質の変化についての注意深い検討、シビアン耐久性のテストなど性能第一主義でパーツを厳選いたしました。

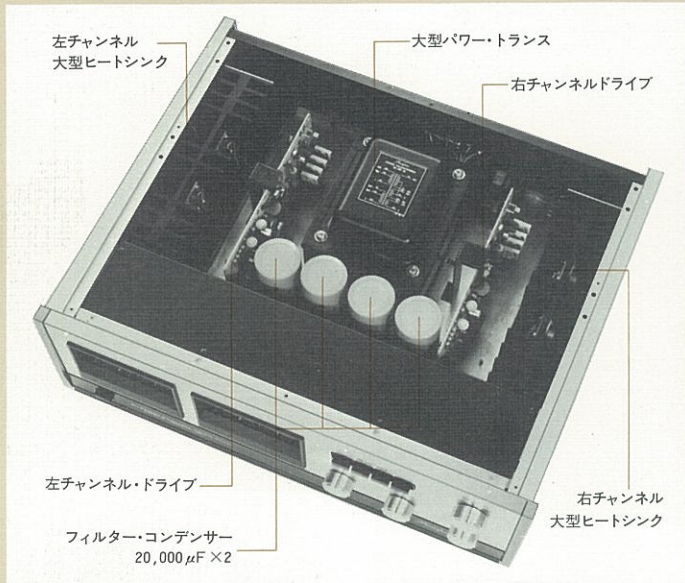
- オーディオ・バンドパス・フィルター 17Hz以下 24kHz以上 18dB/oct
- パワー・メーター
レンジ切替 0dB 0dB=100W(8Ω負荷)
" -10dB 0dB=10W(")
" -20dB 0dB=1W(")
- 電源及び消費電力
100, 117, 220, 240V 50-60Hz
無入力時 70W
最大出力時(8Ω負荷) 375W
- 寸法・重量
幅 445mm×高さ 152mm×奥行 355mm
19.5Kgr.
- 使用トランジスター・ダイオード
36トランジスター, 34ダイオード

P-250型コントロール

- LFET LEVEL, RIGHT LEVEL (左右レベル・コントロール)
フロント・パネル 左右独立型連続可変
- SPEAKERS(スピーカー切替スイッチ)
フロント・パネル 6接点ロータリー・スイッチ, MAIN, REMOTE1, REMOTE2, OFF, MAIN+REMOTE
MAIN+REMOTE 2
- SPEAKER DAMPING(ダンピング・ファクター・コントロール・スイッチ)
フロント・パネル
3接点ロータリー・スイッチ
NORMAL, MEDIUM, SOFT
- METER RANGE (出力メーター・レンジ切替スイッチ)
フロント・パネル,
4連プッシュ・スイッチ
OFF, 0dB, -10dB, -20dB
- AUDIO BANDPASS FILTER (バンドパス・フィルター)
フロント・サブパネル内部
2接点ロータリー・スイッチ
ON, OFF
- INPUT (入力セレクター)
フロント・サブパネル内部
2接点ロータリー・スイッチ
REAR, FRONT
- POWER SWITCH (電源スイッチ)
フロント・サブパネル
プッシュ・スイッチ
ON, OFF
- VOLTAGE SELECTOR (電源電圧切替プラグ)
リア・パネル

P-250型保証特性

●定格出力	4Ω負荷	140W/ch
	8Ω負荷	100W/ch
	16Ω負荷	50W/ch
(両チャンネル同時動作時、20-20,000Hz間、ひずみ率0.1%)		
●高調波ひずみ	0.1%	定格出力時
	0.05%	-3dB出力時
	0.1%	50mW出力時 (20-20,000Hz間)
●IMひずみ率	0.1%	定格出力時
		(20-20,000Hzの任意の周波数)
●周波数特性		20-20,000Hz +0, -0.2dB
定格出力時		
●ダンピング・ファクター		SPEAKER DAMPING SW NORMAL 50
		SPEAKER DAMPING SW MEDIUM 5
		SPEAKER DAMPING SW SOFT 1 (8Ω負荷、40Hz)
●定格出力・入力インピーダンス		1.0V 100KΩ (定格出力に要する入力電圧)
●S/N	94dB	定格出力時
●ステレオ・ヘッドホーン		低出力インピーダンス
適合インピーダンス	4~32Ω	



20,000μF×2のフィルター・コンデンサーを基調に、4Ω負荷の出力280W連続でもびくともしない余裕十分な電源部を構成しています。大出力アンプは特に小出力時の音質が問題になります。各ステージのバイアス電流を徹底的に検討し、小出力時のひずみを極限まで取り除きました。ピアニッシモの清澄感をお楽しみください。

2 スピーカーの個性をより積極的に引き出すスピーカー・ダンピング・コントロール

ソリッド・ステート・アンプのダンピング・ファクターは一般に非常に大きく、スピーカーを制動する上では理想的です。しかし管球式アンプ時代に設計された歴史の長いスピーカーは必ずしもソリッド・ステート・アンプがマッチするとは限りません。ある種のスピーカーはダンピング・ファクターの低い管球式アンプでないと、ふくよかな量感が表現されない場合もあります。この原因の一つの大きな要素がアンプのダンピング・ファクターとの相関であり、このことは私達の実験でも明確になりました。本機は管球式時代に設計されたスピーカーにもマッチするように、アンプの

ば自動的に元の状態に復帰します。又本機にはP-300型同様に、インピーダンス検出回路が内蔵されており、スイッチON以前にスピーカー端子以後がショートされますとリレーが入らない様になっており、事前に異状を知らせます。

4 大型パワー・メーター

良質な再生音を得るために、出力レベルや左右のバランスを監視することは、きわめて重要です。本機では大型のメーターを用いて、出力をdBで表示するようにしました。小音量時でも使えるように、0dB, -10dB, -20dBレンジをプッシュ・スイッチで切替えられます。8オーム負荷、100Wを0dBとして目盛ってあります。

5 バンドパス・フィルター

フォノ・モーターのランブルや超低域のアーム共振で起る不要入力や、中高音を歪調して再生音の品位をそこねます。また、超高音域の不要入力は高音部の信号と混合してビートを発生したり、トランジスタを過熱させます。このような不要なノイズ成分をカットするために17Hz以下24kHz以上を18dB/octという急峻な特性で取り除くバンドパス・フィルターを内蔵しま



Accuphase

KENSONIC LABORATORY INC.
ケンソニック株式会社
横浜市緑区元石川町2124-6 〒227